

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社レグレーヌ
代表者名	永本 光希
所在地	福岡市南区曰佐3-32-24
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) -
業種	学術研究、専門・技術サービス業
電話番号	080-9246-8862
ホームページ	https://legraine.jp

Well-being 向上 に向けた取組み	従業員の働き方の選択肢を増やし、個々人に応じた柔軟な対応ができるようテレワークのための環境整備等を行っている。		
	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> アンケートの 社内共有	<input type="radio"/>

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 株式会社レグレーヌ

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs															
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○	○	誰もが安心して発言・行動できる職場環境づくりのための管理職教育を実施する。 また、多様な価値観への理解を深めるための研修や従業員アンケートを実施する。					○	○	○									
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○	○	残業時間の管理徹底を推進するとともに、多能化によるワークシェアの推進等、労働時間の短縮等に向けた取り組みを行い、ワークライフバランスの推進を行う。 有給休暇取得の推進と休暇を取りやすい体制の整備を行う。					○	○	○									
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○	○	あらゆる雇用条件・職場環境で差別しない体制の整備を行うとともに、差別や各種ハラスメントの禁止を就業規則に明記する。 また、差別やハラスメントに関する定期的な研修の実施及び人権に関する研修を実施する。					○	○	○	○						○		
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○	○	残業時間の管理徹底・平準化への取り組みを推進するとともに、定時退社の日々の声掛けを実施する。 また、業務効率化へ向けた提案や検討がしやすい社内での仕組みづくりを行う。			○	○	○											
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○	○	外部研修の受講機会の提供や資格取得のための費用補助を行うとともに、社内研修会の実施等による事例の共有と能力向上のための情報交換の推進を図る。			○	○	○	○										
	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	ペーパーレス化の促進や再生用紙の利用推進を行うとともに、資源利用の削減や再利用推進の取り組みを行う。 また、ごみの適正な分別・処理の取り組みを実施する。			○	○				○	○	○	○	○	○	○		
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	○	LED照明の導入やクールビズ、ウォームビズの導入等によるオフィスの節電、省エネへの取り組みを実施する。 また、従業員の公共交通機関利用の推奨やエコドライブの推進を図ることで温室効果ガスの排出削減を図る。					○					○	○	○				
	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	○	エネルギー消費の少ない製品や少量で高い性能を発揮できる高効率・省資源な製品を選定し、積極的に活用するとともに、ペーパレス化等の推進による廃棄物削減を図る。					○					○	○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			定期的に水利用状況を把握、確認するとともに、場面に応じた処理水等の活用による節水に努める。					○											
	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○	○	想定されるリスクの洗い出しと対策を実施するとともに、サービス品質確認体制の整備を行う。 また、サービス提供後の品質アンケートの実施により、意見収集と分析を行い、さらなる品質向上へとつなげる。			○								○					
環境	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	社会課題の解決を意識した調達に努めるとともに、社会課題の解決を意識したサービスの改善に努める。		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○			社内における個人情報保護に関する定期的な研修会の開催により理解促進を図る。 また、情報漏えいや紛失などの事故防止のためのアクセス権限の設定・管理を行う。 あわせて、取り扱う個人情報を最小限に限定することでリスクの低減を図る。															○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○			社内会議や社内研修等において法令遵守の重要性について共有を行うとともに、定期的なコンプライアンス研修会を実施する。 また、定期的なコンプライアンス取り組み状況について共有、把握を行う。															○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○	○	○	経営理念や経営目標を定例会議や社内研修等、社員が集まる場において定期的に共有するとともに、日々の各人の行動において経営理念や経営目標を意識した取り組みを行っているか、取り組み状況の確認を行う。							○	○							○	
公正な事業慣行・組織体制	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のにおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	事業継続計画(BCP)の策定及び共有を図るとともに、事業継続計画(BCP)に基づいた定期的な防災訓練を実施する。 事業承継を見据え、先輩や前任者からの十分な引継ぎ機会の確保や事業承継のサポート機関に相談等、各種支援策の活用を行う。										○	○	○	○	○	○	